

令和7年度 第5学年 授業改善推進プラン

台東区立蔵前小学校

1. 児童の学習状況

国語	○修飾語、ことわざ、漢字辞典の使い方等の言葉の学習については、よく理解できている。 ○叙述を基に、登場人物の気持ちを捉える力が高い。 △自分の考えとそれを支える事例との関係を明確にして書く力が不十分である。 △必要なことを記録しながら、話し手が伝えたいことの内容の中心を捉える力が不十分である。
算数	○四角形や直方体の辺の性質など、いろいろな形への理解がよくできている。 ○折れ線グラフと表や面積について、よく理解できている。 △四則の混じった式の計算順序に対する理解に差がある。 △分数の読み取り方や、繰り上がりを含む帯分数の計算に対する理解に差がある。
社会	○「防災」や「ごみ処理」に関する学習については、よく理解できている。 ○資料を基に読み取った内容を、根拠をもとに友達に伝えようとする意欲が高い。 △地図や複数の資料をもとに判断する力が十分ではない。 △資料を基に考えられたこと（グラフが変化した理由など）をまとめる力に個人差がある。
理科	○1年間の植物の成長や動物のようすの学習については、よく理解できている。 ○観察や実験の結果から、法則や規則性を推測する力が高い。 △観察、実験などの目的に応じて、器具や機器を正しく使うことの理解が十分ではない。 △観察や実験結果をもとに、自分の考えを深めたり、広げたりする力が十分ではない。

2. 各教科の具体的な取組

	特に育成を目指す能力	取組
国語	- 調べたことを基に文章を書く力 - 話合いの内容を聞き取る力	- 図書やインターネット等の資料を読み取ってまとめる学習を通して、自分の考えとその根拠となる事例を明確にしてまとめる活動を多く取り入れる。 - グループでの話合い活動を通して、話し合ったことをまとめて、明確に発表する活動を多く取り入れる。
算数	- わり算・計算のきまりの理解 - 分数の理解	- 計算の順序を言語化する機会を設けることで、計算の仕方やきまりの意味を確認する。朝学習や学習アプリケーションを用いての補充学習を実施し、少人数で児童のつまずきに応じた支援を行う。 - 分数の計算に課題のある児童には、理解の段階に応じて少人数で支援を行う。基礎的な学習を繰り返し行うことで、確かな理解と定着を図る。
社会	- 地図帳や資料を読み取る力 - 資料活用能力の向上	- 授業導入時に、地名や土地のつくりなどの地図帳クイズや、資料から事実として分かることを出し合う活動を取り入れる機会を増やす。 - 各単元での資料を読み取る活動の際に、理由等の根拠を明らかにして説明できるよう、子供たちの言語活動や教師の発問を工夫する。
理科	- 観察、実験などの活動を通して、器具や機器を正しく使える力 - 自分の考えをまとめ、分かりやすく説明する力	- 実験前にデジタル教科書の動画を活用し、器具の正しい使い方を視覚的に理解させた上で実験に取り組む。また、朝学習等にミニテストを実施することで、知識の定着を図る。 - 結果に基づいて自分の考えを説明する機会を増やし、学習内容と日常生活とのつながりを意識できるようにする。